充実した研修体制で提案力向上へ

安部整さん

福祉用具貸与事業所イーライフ（横浜市、篠本高基社長）は、教育機関「COLLEGE＋Eカレッジ」を社内に立ち上げ、専門性の高い福祉用具専門相談員の育成と、全社で統一した福祉用具選定方法の構築に取り組んでいる。

スペシャリスト育成プロジェクトCOLLEGE＋Eカレッジ責任者の安部整さんは「福祉用具専門相談員の仕事は担当者ごとに提案力・対応力が変わってしまうという課題があった。また、教育する人によって教え方や内容も異なり、統一された研修やマニュアルがなかった」と経緯を説明する。

入社後は▽ロードマップに沿った業務学習▽社内の福祉用具講習「COLLEGE＋Jr（カレッジジュニア）」▽オンライン勉強会「CATALOG（カタログ）」▽現場同行社後のロールプレイング「CREST（クレスト）」――を並行し、それぞれの試験に合格すると在宅の現場に出て福祉用具選定の業務に従事することができる。

研修開始から合格まで半年から1年程度かかる。

COLLEGE＋Jrでは▽ベッド・車いすの基礎知識▽車いすの選定▽OHスケールに基づいた床ずれ防止用具の選定▽16疾病の概要と高齢者への影響▽人間工学――などを習得。その後、学習内容を活かした福祉用具選定ができるかロールプレイングテストを行い、試験で合格すると次のステップに進む。

CATALOG（カタログ）は、各福祉用具の商品を事前に調べ、自ら発表するオンライン勉強会。アウトプットすることで福祉用具の知識を深める。

入社1年後にはロールプレイング大会『COLLEGE＋KING（カレッジキング）』を開催し、社内外の参加者に自身の成長を披露する機会も設けている。

地域から評価される選定力

同社の、利用者の身体状況や希望に合わせた質の高い福祉用具選定が地域から評価され、ケアマネジャーから終末期や筋萎縮性側索硬化症（ALS）、自立を希望する利用者などの依頼も多い。

終末期の場合は床ずれ予防のほか、安楽な呼吸確保と安全な摂食嚥下環境に繋げる、姿勢保持や痛みを緩和する福祉用具選定に取り組む。

発語ができずに痛みを伝えられないALS利用者の福祉用具選定では、車いすの角度を1・5cm後ろに倒すことで呼吸しやすい姿勢を確保したケースもあった。

安部さんは「利用者の状態や生活環境はマニュアル化できない。医学的知識を身につけることで、医師や看護師との連携だけではなく、利用者の快適な在宅生活の実現に繋げることができる。質の高い福祉用具専門相談員を育成し、地域の利用者を支えていきたい」と語った。

2024年 COLLEGE＋E 教育プログラム（同社HPより抜粋・編集）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
ロードマップ進捗目安	第1章	第2章			第3章			営業デビュー
CREST研修内容	―	基礎知識	業務運用確認	事前準備	業務振り返り／選定	シミュレーション		
CATALOG研修内容	―	特殊寝台（付属品）	車いす（付属品）	床ずれ防止用具 体位変換器	歩行器 歩行補助つえ	手すり スロープ	認知症徘徊感知機器 移動用リフト 自動排泄処理装置	実機研修
COLLEGE＋Jr研修内容	―	COLLEGE＋KING	第1章 講習（ベッド・車いす基本）	第1章 トライ（ベッド・車いす基本）	第2章 講習（車いす選定）	第2章 トライ（車いす選定）	第3章 講習（床ずれ防止用具選定）	第3章 トライ（床ずれ防止用具選定）